

【ご意見をいただきたい主な視点】

今回の協議では、在宅療養者の「③急変時の対応」について、現状の把握と課題の整理を目的に意見交換を行います。事前に、以下のような点について、日頃感じていることを整理いただければ幸いです。

※本資料における「急変時」とは、在宅療養中に、発熱、呼吸状態の悪化、意識レベルの変化など、病状や体調の急激な変化が生じ、医療的な判断や対応が必要となる状態を指します。

1 急変時の対応の流れについて

- 急変時、最初にどこへ連絡が入ることが多いか
- 夜間・休日を含め、現在の対応の流れ
- 判断に迷うことが多い場面

2 医療・介護の連携について

- 急変時における、医療と介護の役割分担
- 連携がうまくいった点、または難しさを感じた点
- 他職種に共有されると助かる情報

3 本人・家族への対応について

- 急変時における、本人・家族の意思確認の状況
- 事前の説明や共有について、十分だと感じる点／不足している点

4 情報共有・連絡体制について

- 急変時に必要な情報が、すぐに把握できているか
- 情報共有や連絡体制に関して、課題に感じている点

5 今後に向けた課題（自由意見）

- 急変時対応について、特に課題だと感じていること
- 今後、在宅医療・介護連携の中で、整理や共有が必要だと感じる点

※すべての項目についてご発言いただく必要はありません。

各委員の立場から、日頃感じていることを中心にご意見をお聞かせください。

急変時対応に関する課題整理シート

1 急変時の対応の流れ

- 現状：
 - 課題：
-

2 医療・介護の連携

- 現状：
 - 課題：
-

3 本人・家族への対応

- 現状：
 - 課題：
-

4 情報共有・連絡体制

- 現状：
 - 課題：
-

5 その他・自由意見

- -
-